



令和4年5月10日

西日本豪雨災害が片頭痛発作を誘発：ビッグデータを用いた縦断分析

論文掲載

【本研究成果のポイント】

- 2018年7月に広島県を中心に発生した西日本豪雨災害の被災者において、片頭痛発作治療薬を新規に処方された人の割合が増加したことが明らかになった。
- 自然災害が片頭痛を誘発しうることを臨床医が認識し、災害前患者教育や災害時の薬剤処方体制の構築に生かすことが重要である。

【概要】

広島大学大学院医系科学研究科 松本正俊寄附講座教授、大学病院 吉田秀平助教、大学院先進理工系科学研究科 鹿嶋小緒里准教授が、北広島町八幡診療所 岡崎悠治医師、自治医科大学地域医療学センター 小池創一教授と共同で行った研究により、2018年西日本豪雨災害の被災者において、被災を契機に片頭痛発作治療薬の処方を受けた人の割合が増加していることが明らかになりました。

この研究成果が米国学術誌「Headache: The Journal of Head and Face Pain」にオンライン掲載されました。これまで、自然災害によって片頭痛発作が誘発されることを実証した研究はなく、本研究の結果は今後の災害対策および頭痛診療に役立つものと思われます。

<論文情報>

本研究成果は2022年4月25日に、米国頭痛学会の学術誌「Headache: The Journal of Head and Face Pain」に掲載（オンライン）されました。

- 掲載誌：Headache: The Journal of Head and Face Pain
- 論文タイトル：Impact of the 2018 Japan Floods on prescriptions for migraine: A longitudinal analysis using the National Database of Health Insurance Claims
- 著者名：Yuji Okazaki, Shuhei Yoshida, Saori Kashima, Soichi Koike, Masatoshi Matsumoto
- DOI: <https://doi.org/10.1111/head.14301>

【背景】

世界的な気候変動により自然災害は年々増加しています。自然災害の被災者は、精神的ストレスを強く受け、それに関連した様々な健康被害をもたらす可能性があります。これまでの研究で精神的ストレスと片頭痛発作には関連があることが示唆されていましたが、自然災害が片頭痛発作の頻度や強度にどのような影響を与えるかは分かっていませんでした。そこで本研究は厚生労働省より許可を経て、西日本豪雨災害の被害が大きかった3県（広島県、岡山県、愛媛県）の医療レセプト（診療報酬明細書）データを分析し、15-64歳の住民の片頭痛発作治療薬の新規処方を災害後12カ月間で評価しました。

【研究成果の内容】

データに含まれる 15-64 歳の住民 3,475,515 人のうち、0.46% (16,103 人) が市町村により被災者として認定されていました。被災前 12 ヶ月間で片頭痛発作治療薬の処方を受けていない無治療住民 (3,447,356 人 (99.2%)) のうち、被災後 12 ヶ月間に被災者群 0.7% (111 人)、非被災者群 0.43% (14,626 人) が新たに片頭痛発作治療薬を処方されていました。この被災者群の片頭痛発作治療薬の新規処方率は非被災者群の処方率に比べて有意に高い値でした (調整ハザード比: 1.68、95%信頼区間: 1.39-2.02)。また、災害前に片頭痛発作治療薬の使用歴のある住民 (22,592 人 (0.65%)) については、被災者群は非被災者群に比べ、毎月の片頭痛発作治療薬平均処方錠数が有意に増加していました (調整オッズ比: 2.23、95%信頼区間: 1.55-3.22)。

自然災害の被災者は、片頭痛発作治療薬をより多く処方されており、これは片頭痛発作の頻度や強度が増えていたことを示しています。(図)。

【今後の展開】

片頭痛は一般人口において有病率が高い疾患であり、また患者の生活の質 (Quality of Life: QOL) に大きな影響を与えることから世界の疾病負担の主要原因の 1 つと位置付けられています。

自然災害の被災者において、生活面での困難に加えて、片頭痛の発生が増え、かつ重症化することを理解しておくことは、臨床医および災害対策に関わる専門職によって被災者の生活の質を守るうえで重要と思われます。片頭痛は精神的ストレスを受けたとき以上に、それから解放されたときに発作が起こりやすいことが知られており、自然災害時においても同様のことが起きうると予想されます。片頭痛を有する患者に対して、災害時および災害後の症状悪化について事前に説明しておく、災害時に速やかに配布できるよう治療薬をストックしておくなどの対策が必要と思われます。

【用語解説】

片頭痛発作治療薬: 本研究では、トリプタン (スマトリプタン・リザトリプタン・エルトリプタン・ゾルミトリプタン・ナラトリプタン) とエルゴタミンを対象としています。

【参考図】

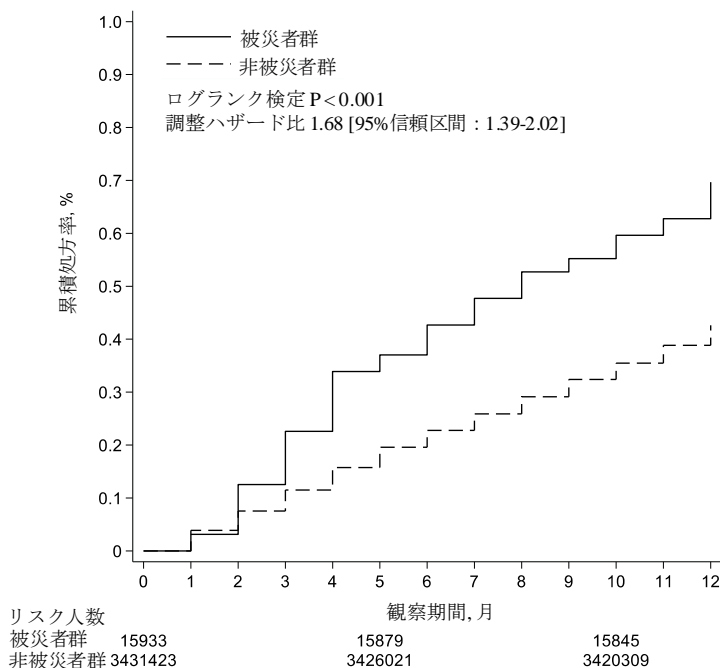


図 被災者および非被災者における片頭痛治療薬の累積新規処方率 (n=3,447,356)

【お問い合わせ先】

<研究に関すること>

広島大学大学院医系科学研究科地域医療システム学 松本正俊

Tel : 082-257-5894 FAX : 082-257-5895

E-mail : matmo10@hiroshima-u.ac.jp

<報道に関すること>

広島大学広報室

Tel : 082-424-3701

E-mail : koho@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）